

Service News [サービス・ニュース]

■ 専門図書館への入口講座 第8回 **日比谷カレッジ版**
 専門図書館の所蔵資料や効果的な使い方を学ぶ講座です。

映画・演劇資料の宝箱
 — 松竹大谷図書館 —

- 日時: 3月16日(木) 18:30~19:30 (18:15開場)
- 講師: 武藤祥子(公益財団法人松竹大谷図書館)
- 場所: 4階セミナールーム A
- 定員: 24名(事前申込順)
- 参加費: 無料
- 申込方法: 電話(03-3502-3340)、Eメール(college@hibiyal.jp)、来館(1階受付)いずれかにて、①講座名 ②お名前(よみがな) ③電話番号をお知らせください。

※いつもの専門図書館への入口講座とは異なり、事前のお申し込みが必要です。ご注意ください!

松竹大谷図書館とは...

長年にわたり演劇・映画事業にたずさわってきた松竹株式会社が、収集・所蔵してきた資料を広く一般に公開し、社会文化の向上発展に寄与することを目的として設立された、演劇・映画専門の専門図書館です。演劇(歌舞伎・文楽・新派・新劇・商業演劇を主に)、映画、日本舞踊、テレビ等に関する台本・文献・雑誌・写真・プログラム・ポスター等の資料、さらには約300年前の浄瑠璃正本などをはじめ、市販されていない演劇台本・映画シナリオ等も多く所蔵しており、所蔵資料数は現在46万余点に及びます。

今回の講座では、松竹大谷図書館の歴史や成り立ちのご紹介はもちろんのこと、便利な利用方法や実際のレファレンス事例、収集資料や独自の分類方法、また近年実施しているクラウドファンディングを利用した資料保存プロジェクト等についてもご紹介いただく予定です。

3 Exhibit Information 3月の展示情報 ※展示情報は変更する場合がございます。

2F ホール 「科学道100冊『知りたい!』が未来をつくる」(~3/31) **NEW!**
 科学者たちの見方・生き方・考え方の思考プロセスに触れることのできる本を6つのステージに分けてご紹介します。科学書だけではなく、ジャンルを横断して選ばれた本は、ビジネスなどの考え方や生きるヒントにもつながるかもしれません。(企画協力: 編集工学研究所)

3F クリーンゾーン 「数字をよみとく本棚」(~6/16) **NEW!**
 人の生活に欠かすことのできない「数」は、どのようにして生まれたのか。数えるという概念から時間・暦・金融への発達を通して、数について考えます。また、図書館ではどのように本を並べているのか、図書分類法についても学べる展示です。

3F フルゾーン 「ビジネスパーソンのための〇〇道」(~4/14)
 茶道や華道などのいわゆる「お稽古事」だけでなく、自分を成長させることのできる「道」や、対人関係のマナーや趣味等をさまざまな「道」として紹介し、ビジネスやプライベートの場において役に立つヒントを発信する展示です。

2F パープルゾーン **ZONE PICK UP!**
 [江戸・東京]の本を集めたゾーン

「東京×発見」 ~5月12日(金)

常に新しい文化が生まれ、変化し続けている東京。この展示では、「現代の東京、これからの東京」に焦点を当て、旅、食、寄り道、アート、2020年などの小テーマに分けて東京を紹介しています。きっと、東京の持つたくさんの文化、魅力を再発見していただけるはず。あなたにぴったりな「東京」を是非探してみてください。



日比谷カレッジ報告
 大宅映子氏2017年新春講演会
皆違つて皆いい 違うことは良いことだ
 講師: 大宅 映子(評論家・公益財団法人大宅社(文庫理事長))
 マスメディアでも活躍中の大宅映子氏を講師にお迎えし、人の多様性の大切さについて、皆それぞれの役割があり、お互いの違いを認め合つてもつと良い方向を目指すことが重要だとお話しいただきました。また、自身の生い立ちや父大宅社一氏とのエピソードにも触れ、情報時代に貴賤なし、雑誌は肌感覚で時代がわかるのが良いと雑誌の専門図書館である大宅社(文庫)に対する思いなども聴くことができました。ユーモアを交えた歯切れの良い話しぶりに、参加者からは勇気と元気をいただいたという声が多く寄せられました。



話題のアメリカ大統領のことなど、時事問題も織り交ぜながらお話しいただきました。

わたしの一冊
『海賊とよばれた男』(上・下) 百田尚樹 著
 国家を愛し、家族を愛し、店員を家族同様に愛し、何より人間愛に溢れた主人公。戦前より石油元売り事業を手掛ける中、閉鎖的な商慣行の縛りにも屈せず、持ち前の好奇心、類まれな構想力、実行力をもって、戦後の混乱期に於ける不当な圧力にも決して屈する事なく、自らの信念を貫き通した岡岡商店店主・岡岡鐵造の生き様に、心揺さぶられました。沢山の方々にこの感動を!!

当館スタッフの推薦本をご紹介します。おすすめる人: 警備 池田博

「愚痴をやめよ」玉音放送から2日後、鐵造が店員に向けた第一声である。敗戦により海外の資産をすべて失った岡岡商店の苦難へのスタートであった。これより幾多の苦難を乗り越えて行く岡岡商店の奮闘ぶりを描き、本屋大賞にも輝いた作品である。



講談社 / 2012年

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

東京が注目されている今、2階図書フロアでは「東京×発見」というテーマで各フロアから東京に関する本を集めたコーナー展示を行っています。当館では、それ以外のスペースでも様々な切り口で、東京に関する図書資料を多数展示しているほか、1階の常設展示室では千代田区の歴史がわかる展示を開催しています。各フロアを巡り、展示した図書資料を手にとっていただければ、知っていたよいうで知らなかった新しい東京に出会えるはずです。また、日比谷カレッジでは地域に関連した講座も数多く実施しています。こちらの参加もお待ちしております。これから暖かくなる季節、街歩きを楽しむためにも、この機会に新たな東京を見つけて下さい。

「新たな東京に出会う」 TOKYO

【文化】

市川海老蔵 成田屋の粋と艶
 和楽ムック『市川海老蔵 成田屋の粋と艶』市川海老蔵/著・篠山紀信/撮影(小学館)2010年
 歌舞伎・落語・文楽など江戸時代に花開いた伝統芸能の関連図書を数多く揃えています。江戸時代から東京は芸能文化の中心。歴史や演目を詳しく知れば、より一層、観劇が楽しめます。

▶▶ 2階パープルゾーン 「江戸 演劇」コーナー

【暮らし】

どんぼの本『荒木経惟 トーキョー・アルキ』荒木経惟/著(新潮社)2009年
 「現代の東京、これからの東京」に焦点を当て、食、寄り道、アートなどのテーマに分けて東京を紹介しています。外国の方から見た東京の魅力に関する書籍も展示。身近な街の新たな一面がみつかります。

▶▶ 2階パープルゾーン 「東京×発見」コーナー

【歴史】

帝国議事堂之図(東京名所) 明治30年代頃
 遺跡発掘調査や資料調査によって明らかとなった、古代から現在までの千代田区の歴史を資料や映像で解説。展示は貴重な区の文化財とともに展示しています。

▶▶ 1階常設展示室 「千代田にみる都市の成立と展開」(入場無料)

3/13(月) Hibiya College 地方自治と図書館 — 図書館で地域再生を

講師: 片山 善博(慶應義塾大学法学部教授) 糸賀 雅児(慶應義塾大学文学部教授)
 聞き手: 神代 浩(文部科学省科学技術・学術総括官兼政策課長)
 「民主主義の啓」として、「まちづくり」「地方自治」において、ますます図書館は重要な役割を果たすことが期待されます。地域の課題解決と住民の自立支援に向けて、これからの図書館や司書はどうあるべきか、地方自治と図書館政策の論客に文部科学官僚が疑問をぶつけます。(主催: 株式会社 勁草書房)



calendar 開館時間: 平日10時~22時 ■ 土曜10時~19時 ■ 日祝10時~17時 ■ 休館日 ■ 部分休館日

2017年3月							2017年4月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4							1
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29
							30						

■ お問合せ先:
 千代田区立日比谷図書文化館 〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 TEL: 施設代表 03-3502-3340 図書総合カウンター 03-3502-3343 URL: http://hibiyal.jp

information 4月の部分(図書フロア)休館についてのお知らせ

■ 部分休館日: **4月23日(日)・24日(月)**
 図書館システムデータセンター移設に伴い、2・3階の図書フロア部分を臨時休館します。図書フロア以外の施設は通常どおり利用できます。
 ※4月17日(第三月曜日)は全館休館です。(定期休館日)

3・4月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

3/2 (木) 使い続ける重要文化財 東京駅の保存・復原・活用を考える

講師:田原 幸夫(京都工芸繊維大学大学院 特任教授)

駅やホテル・美術館として日々100万人近い人々が利用する東京駅丸の内駅舎は“使い続ける重要文化財”の代表です。10年を超える保存復原プロジェクトに関わった講師が全容を振り返り、現代の日本における歴史的建築物の保存活用について考えます。



- 日時:3月2日(木)19:00~20:45(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■ 参加費:1000円

3/8 (水) カエルの神経からヒトの脳へ 脳の解明から精神神経疾患の制圧を目指して

講師:後藤 秀哉(サイエンスライター、医学博士)

神経から脳にかけての研究には、カエルやネコなど各種の動物が使われてきました。いくつものノーベル賞に輝き、日本の研究者も偉大な業績を残しています。さらに、最近ではヒト脳の内部を観察できるようになり、難攻不落だった精神神経疾患の治療制圧も始まりました。本講座では脳科学の軌跡を俯瞰し、将来の展望を考えます。



- 日時:3月8日(水)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名 ■ 参加費:1000円

3/10 (金) 千代田区民講座 華麗なる獅子舞の世界

講師:高橋 裕一(獅子博物館 館長)

獅子舞はお正月だけのものではなく、一年を通じて各地で行われています。一つの獅子を一人で演じるものから、大勢で演じるものまで多種多様です。その歴史を辿る「獅子舞の歴史」のダイジェスト版を、全日本獅子舞フェスティバル(主催:NPO法人 獅子舞の会)の代表として、定員に達した為受付を終了しました。

- 日時:3月10日(金)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名
- 参加費:無料

3/15 (水) リーダーに学ぶ ミッション…経営の原点にもどる

講師:岩田 松雄(元スターバックスコーピーージャパンCEO)

製造からセールス、財務まで様々な実務経験とスターバックスでの経営者としての経験をもとに、企業にとって「ミッション」が如何に大切かを、スターバックスの感動的なエピソードと共にご紹介いたします。まとめとして「ついでいきたいリーダーに必要なことは何か」についてお話します。(主催:公益財団法人上廣倫理財団)



- 日時:3月15日(水)19:00~20:30(18:30開場)
 - 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 - 定員:200名
 - 参加費:500円(千代田区民・学生無料)
- ※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。

〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはEメール(college@hibiyal.jp)にて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

3/15 (水)他 「幸福」を哲学する(全2回)

講師:合田 正人(明治大学文学部教授)

「幸福」。この至極やっかいな主題をめぐる独自の形式で思索した哲学者アラン。出版から90年を経た今もなおアランの幸福論が広く読まれ続けているのはなぜだろうか。一見平易に見えるその主張にはいかなる哲学的思想が秘められているのだろうか。それを講師と共に考える。



Alain(アラン): 本名 Émile Auguste Chartier (エミール=オーギュスト・シャルティエ) Gallica Digital Library 所蔵

- 第1回「幸福」の哲学史散策—古代からアランまで 日時:3月15日(水)19:00~20:40(18:30開場)
- 第2回 アラン『幸福についてのプロボ』読解 日時:3月22日(水)19:00~20:40(18:30開場)

- 両日とも ■ 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
 - 定員:60名 ■ 参加費:2000円(全2回)
- (Eメール=オーギュスト・シャルティエ) ※各回でのお申し込みはできません。

3/17 (金) 漢字と秦の文字統一—最新の出土資料から見えてきたもの—

講師:大西 克也(東京大学・大学院人文社会系研究科教授)

今から三千数百年前、甲骨文字として出現した漢字は、紀元前221年の秦の文字統一により、あらゆる意味において定まり、現在も秦の漢字文化は息づいています。戦国・秦漢時代の膨大な量に及ぶ近年の出土資料による最新の研究に基づき、秦の文字統一の意味を考えます。



- 日時:3月17日(金)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■ 定員:200名 ■ 参加費:1000円

3/19 (日) ピースビレッジ 第51回 場づくりとは編集だ!

〜コミュニティができる場づくり、教えます〜

講師:水代 優(good mornings(グッドモーニングス)株式会社代表取締役)

目的をもったコミュニティとしての場づくりが、いま注目を集めています。東日本大震災の被災地での朝市、丸の内「倶楽部21号館」など、沢山のひとが集まるローカルな場づくりに組んでいる講師の経験から、場づくりの成功の秘訣をお話します。(主催:NPO法人 世界連邦21世紀フォーラム)



- 日時:3月19日(日)14:00~16:30(13:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名 ■ 参加費:3000円

3/31 (金) プロパテント・ウォーズ—世界を変えた特許の歴史

講師:上山 明博(ノンフィクション作家)

世界で最初の特許制度は、イタリア・ルネサンス期に、ヴェネツィア共和国で誕生しました。この時代に活躍したガリレオ・ガリレイは、共和国の元首に宛てて特許申請の手紙を書き残しています。その手紙を読み解きながら、特許制度の社会的役割について解説します。その後、特許制度はイギリス、アメリカ、そして日本で導入されました。その歴史を辿りながら、特許の今日の意味を探索してみましょう。



ガリレオ・ガリレイ Galileo Galilei 所蔵:National Maritime Museum, Greenwich, London

- 日時:3月31日(金)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■ 定員:200名 ■ 参加費:1000円

4/5 (水)他 躍動するクラシック ~心と身体の鼓動から生まれた舞曲たち(全2回)~

「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン2017」を前に~

講師:オヤマダアツシ(音楽ライター)

最も原初的な表現行為であるダンスは、常に音楽とともに民衆の中から生まれ、ごく早い時期からクラシック音楽に影響を与えてきました。2017年は、バロックから今日まで400年間にわたるダンスと音楽の密接な関係をたどります。(協力:東京国際フォーラム、ラックスマン、フォステクス、ナクソス・ジャパン)



- 日時: 第1回 4月5日(水)19:00~20:30(18:30開場) 「クラシック音楽を多様化させてきた多くの舞曲たち」 第2回 4月12日(水)19:00~20:30(18:30開場) 今年の「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン」はリズムに満ちている。
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■ 参加費:各回500円

4/14 (金) 著者デビューの方法

講師:鬼塚 忠(アップルシード・エージェンシー代表取締役)

自分の本を出してみたい!でも、どうすれば…という方のために、出版~販売までのノウハウを学ぶ入門講座です。作家のエージェントであり、自身も作家である鬼塚忠氏が、多くの新人作家をデビューさせ、ベストセラー作家に育て上げた経験を踏まえて、著者デビューのコツを伝授します。※小説・詩歌を除く



- 日時:4月14日(金)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:30名 ■ 参加費:1000円

4/16 (日) ピースビレッジ 第52回 サンチャゴ・デ・コンポステーラ/熊野古道・巡礼紀行

~歩くこと。祈ること。新たなる世界軸(axis mundi)を探して~

講師:井島 健至(フォトグラファー)

「星の道」と呼ばれるサンチャゴ巡礼路と熊野古道・中辺路。「道の世界遺産」として世界中から数多くの巡礼者/観光客を惹きつける二つの「道」を歩いた移動の軌跡を通して感じた現代における「聖地巡礼」の意味についてお話します。(主催:NPO法人 世界連邦21世紀フォーラム)



- 日時:4月16日(日)14:00~16:30(13:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名 ■ 参加費:3000円

4/18 (火)他 大正ロマンの画家 竹久夢二の魅力(全2回)

講師:石川 桂子(竹久夢二美術館 学芸員)

センチメンタルな“夢二式美人画”だけでなく、デザイン作品や詩歌も多く手がけ、マルチアーティストとして活躍した竹久夢二作品と、恋や旅を重ねたドラマチックな人生を俯瞰し、さらに東京から「可愛い」を発信し、少女文化をリードした仕事も紹介します。



セノオ楽譜「待春賦」1924年

- 日時: 第1回 4月18日(火)14:00~15:30(13:30開場) 夢二の生涯と芸術 ~知られざる素顔に迫る~ 第2回 4月25日(火)14:00~15:30(13:30開場) 東京を再発見!夢二の視点より ~ゆかりの街と描かれた風景、100年前に発信した「可愛い」~
- 両日とも ■ 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■ 参加費:各回1000円(千代田区民 各回500円)

4/21 (金) 出版社と図書館が築く新しい時代

講師:菊池 明郎(株式会社筑摩書房 元代表取締役社長)

下中 美都(株式会社平凡社 代表取締役社長)

富澤 凡子(柏書房株式会社 代表取締役社長)

現在の出版界が置かれている状況、出版社と図書館、著者、書店との関わりを出版の第一線で活躍する三人の講師にお話いただきます。より豊かな読書環境を提供するために、出版社と図書館は角度ができるのか、さまざまな角度から皆さんと一緒に考えます。



左から 菊池氏/下中氏/富澤氏

- 日時:4月21日(金)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名 ■ 参加費:500円

古文書塾てらこや体験講座 体験講座 各回1000円

「古文書塾てらこや」は古文書専門塾として、初心者から経験者まで楽しみながら学習を進めています。4月期の開講に合わせ、この度、古文書の世界に無理なく入っていける「体験講座」をご用意いたしました。各コース別の体験講座実施日は下記の通りです。まずは体験講座をお試ください。

	講座名	曜日・時間	体験講座実施日
入門コース 120分	古文書のいろは 筆字のくずし字	(火) 10:30~	3/21
		(火) 13:30~	3/21
		(木) 13:30~	3/30
		(金) 13:30~	3/17
		(金) 18:30~	3/24
	いろはの次 一 大江戸大変	(月) 18:30~	3/27
	いろはの次 一 江戸時代の海外知識	(金) 10:30~	3/24

本科コース 120分	文人画と碑文 一掛軸を読む	(月) 18:30~	4/3
	武家文書を読む 一幕府崩壊事情	(水) 13:30~	3/22
	江戸のコミック(黄表紙)と滑稽本を読む	(金) 18:30~	3/17
	絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(応用編)	(土) 13:30~	3/18

特別講座 90分	自分の花押(かおう)を持ってみませんか	(火) 13:30~	3/28
	大久保利通の手紙を読む	(火) 19:00~	3/28
	浮世絵を読む【紅色クラス】【藍色クラス】※合同開催	(水) 10:30~	3/29
	江戸美人を造る『都風俗化粧(けわい)伝』を探る	(水) 13:30~	3/29
	豪商 三井の最高意思決定「大元方」の史料を読む	(水) 19:00~	3/29
	江戸を楽しむ 一統・江戸の寺社あれこれ	(木) 18:30~	3/23
	絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(入門編)	(土) 10:30~	3/18

- 参加費:各回1000円 ■ 会場:4階セミナールーム(会議室)
- 資料請求・体験講座のお問合せ:電話(03-3502-3340 日比谷図書文化館代表) 古文書塾てらこや担当迄

特別研究室 企画 展示

日本統治期台湾の都市景観 ~遺された『火災保険特殊地図』より~

3月19日(日)まで開催中

1933(昭和8)年~1934(昭和9)年にかけて作製された『火災保険特殊地図』と内田嘉吉文庫所蔵の他の台湾写真資料や地図資料をあわせて展示する本企画。2月20日から3月19日までは、高雄、屏東、台南、嘉義、台中の資料から日本統治時代の台湾の景観を紹介しています。



台中庁舎

ポモータ広報室より

少しずつ暖かくなってくると、どこかに出かけたくくなります。遠くに出かけるのも良いですが、図書館で旅をするのはいかがですか?図書館での旅は、目的がなくても、憧れの土地や見知らぬ場所、過去の時代や空想の未来へも自由に行くことができます。そして、本棚を見ながら歩いているだけで、インスピレーションが湧いてくる不思議な場所です。さらに、日比谷カレッジでは「学び」と「交流」の場へも参加出来ます。図書館で楽しい旅を! Bon voyage

